



『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

新宿区

面積18.22km²
世帯数220,769世帯
人口347,570人
(うち外国人).....40,219人
予算1,540億円
職員数2,715人



新宿中央公園

令和2(2020)年7月、芝生広場エリアをリニューアルし、交流拠点施設「SHUKNOVA」がオープン。誰もが愛着と誇りを持つ公園づくりを進めています。



撮影協力：東日本旅客鉄道株式会社
日本一の乗降客数を誇る新宿駅

令和2(2020)年7月、新宿駅東西自由通路が開通し、東口駅前広場が整備されました。歩行者中心で交流やにぎわいを生み出す空間づくりを進めています。



漱石山房記念館

夏目漱石にとって、初の本格的記念館。晩年暮らした「漱石山房」の書斎を県立神奈川近代文学館・東北大学附属図書館の協力で再現しています。

歴史・見所・名所

多くの人が住み・働き・学び・訪れる場として多様な魅力を持ち、国内外の人々をひきつけるまち新宿。新宿区は昭和22(1947)年3月15日、旧四谷・牛込・淀橋の3区が統合して誕生しました。「新宿」の地名は、江戸時代に甲州街道の新しい宿場として「内藤新宿」が設置されたことに由来し、新宿御苑や新宿駅が全国的にも有名だったことから、区名に採用されたものです。

多くの寺社があり、歴史と文化に支えられた「四谷エリア」、日本一の乗降客数を誇る新宿駅を中心に、繁華街・ビジネス街などが広がる「新宿駅周辺エリア」、若者が集まり、国際色豊かな「高田馬場・早稲田・大久保エリア」、閑静な住宅地と豊かな緑、文化人にも愛された「落合エリア」、由緒ある坂道や史跡が数多く残り、風情ある街並みを感じられる「神楽坂エリア」など、それぞれの特色や魅力が異なるエリアがあります。

神楽坂まつりや新宿クリエイターズ・フェスタなど、数多くのイベントが区内で開催され、にぎわいであふれるまちである一方、区立公園で最大の面積を誇る新宿中央公園やアユが遡上する神田川、ホテルが見られるおとめ山公園などの豊かな水辺とみどりも多く、やすらぎの場となっているほか、神田川の流域を中心に染色業や印刷関連業が今も地場産業として盛んで、伝統技術が継承されています。

概要

23区のはほぼ中央にある新宿区は、武蔵野台地の東端に位置します。小高い台地とそれに挟まれて東西に延びる下町低地に沿って、神田川、妙正寺川、外濠などの水辺が区の外周を沿うように取り巻き、こうした地形が、由緒ある坂や斜面緑地などの貴重な自然として残されています。新宿は多様な顔を持つ懐の深いまち。都市の水辺とみどり、歴史や文化などの土地の記憶を大切にしながら、30万人を超える区民が暮らす生活都市として、また、多くの人が訪れる国際観光都市として新たなにぎわいと活力の創出に地域ぐるみで取り組んでいます。

現在区では、令和2(2020)年7月に、新宿駅東西自由通路が開通したことを契機として、新宿駅直近地区を新宿駅、駅前広場、駅ビルが一体となった新宿グランドターミナルとして再編するためのまちづくりを進めています。また、各エリアの特性や資源を活かしたまちづくりや、23区では最も多く、人口の1割を超える130か国以上の外国人区民が暮らすまちとして、交流とにぎわいある多文化共生のまちづくりにも取り組んでいます。

主要課題

新宿区は、少子高齢化の急速な進展、未来を担う次世代の育成、地域で支え合えるコミュニティの醸成、切迫性が高まる首都直下地震への対応など、さまざまな課題に直面しています。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響など区政を取り巻く状況が不透明である中、「現場・現実を重視した柔軟かつ総合性の高い区政」、「将来を見据えた政策の優先順位を明確にした区政」の2点を基本姿勢に、区政の課題に積極的に取り組み、子ども、高齢者、障害者の方をはじめ、区民一人ひとりが尊重され、住み慣れた地域で、誰もが自分らしく安心して心豊かに暮らすことができる地域社会を実現することが必要です。

将来展望

新宿区は、商業・業務・文化・居住機能などが集積する多様性に富んだまちです。また、国内外の多様な人々が住み、働き、学び、集う、懐の深いまちです。こうした新宿区の強みを活かし、誰もが住みたい、住み続けたいと思える、持続的に発展する新しい新宿のまちを創造することが区の使命です。区では、基本構想で掲げる新宿区のめざすまちの姿、『『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち』の実現に向けて、施策を重点化した「5つの基本政策」により区政を推進しています。

【5つの基本政策】

I 暮らしやすさ1番の新宿

健康寿命の延伸、子育て環境の整備や教育の充実、高齢者や障害者など誰もが自分らしく生活できるまちづくり、地域コミュニティの活性化などに取り組みます。

II 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

建築物の耐震化や不燃化、災害に強い体制づくり、犯罪のないまちづくり、民泊や空家等への対策、感染症の予防、路上喫煙防止などに取り組みます。

III 賑わい都市・新宿の創造

まちの回遊性や利便性を向上させる都市基盤整備、文化・観光・スポーツの振興、魅力ある商店街づくりや産業振興などに取り組みます。

IV 健全な区財政の確立

行政評価制度の活用、公民連携、税外収入のさらなる確保、公共施設マネジメントの強化など、効果的・効率的な区政運営に取り組みます。

V 好感度1番の区役所

職員の育成や能力向上、窓口案内の質の向上や行政サービスの利便性向上などに取り組みます。また、区民に最も身近な基礎自治体として、地方分権を推進していきます。

【地方都市との連携】

新宿区は、友好都市である長野県伊那市を中心に、都市と地方のそれぞれの強みを活かして、さまざまな分野で交流・連携に取り組んでいます。

- ・地方都市の森林整備によるカーボン・オフセット「新宿の森」(長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市)
- ・地方都市で作成された木製おもちゃ等を誕生祝い品として配布(長野県伊那市)
- ・夏目漱石に縁のある地方都市と連携した「夏目漱石コンクール」などの実施(熊本県、熊本市、愛媛県松山市などと連携した全国からの作品募集)
- ・地域の祭りやイベントへの参加、文化・スポーツ交流(山梨県北杜市、石川県白山市、愛媛県松山市など)



染めの小道

落合・中井のまちを染め物のギャラリーに見立てたイベントで、妙正寺川の川面を色とりどりの染め物が彩ります。



神楽坂のにぎわい

神楽坂まつり・阿波踊り大会などのさまざまなイベントが開催され、個性的な飲食店も多く、活気にあふれています。日曜、休日の正午からは歩行者天国をしています。